

62652 アベイラプラス

初版作成日：2023/4/20

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：

製品名称：アベイラプラス

製品番号 (SDS NO)：62652

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称：日本全薬工業株式会社

住所：〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1 丁目 2 番 6 号 駿河台ビル 2F

担当部署：事業開発部

電話番号：03-5282-2483

緊急連絡先電話：024-945-2300(代表)

本製品に関するその他の情報については、別添資料をご参照ください。



## アベイラ プラス

## 第 1 項: 製品及び会社情報

- 1.1 製品情報:  
製品名: アベイラ プラス  
亜鉛、マンガン、銅のアミノ酸錯体/ペプチド複合体、硫酸コバルト、ヨウ化カリウム  
畜産動物用飼料添加物
- 1.2 供給者詳細:  
会社情報: ジンプロコーポレーション  
アメリカ合衆国ミネソタ州エデンプレーリー市  
バイキングドライブ 10400 スイート MN 55344-7265
- 情報問い合わせ先:  
メールアドレス: 1 (米国) . 952.944.2736  
zinpro@zinpro.com
- 1.3 緊急時連絡先 (流出、漏れ、火災、曝露または事故): CHEMTREC 1 (米国) -800-424-9300 (米国とカナダ)  
1 (米国) 703-527-3887 (コレクトコール)  
Reference CCN 725293

## 第 2 項: 危険有害性の要約

- 2.1 分類: 皮膚感作物質、 区分 1 (コバルト濃度 > 0.1%)  
発がん性物質、 区分 2 (コバルト濃度 > 1%)  
突然変異原、 区分 2 (コバルト濃度 > 1%)
- 絵表示
- 
- 注意喚起語  
危険有害性情報
- 注意書き
- 警告  
アレルギー性皮膚反応を引き起こす可能性あり。  
保護手袋および眼/顔面保護具を着用する。  
粉塵の吸入を避ける。  
皮膚に付着した場合は、十分な量の水で洗う。  
皮膚に刺激や発疹が生じた場合は医師に相談する。  
汚染された服を脱ぎ、再使用する前に洗濯をする。  
汚染された服は、作業場から持ち出さない。  
本製品の内容物や容器は、許可されたごみ廃棄場またはリサイクルセンターで処分する。

## 第 3 項: 組成/成分情報

成分	CAS NO.	% WT	EPCRA 313
銅アミノ酸錯体/銅ペプチド複合体	無	1.0% (銅として)	有
亜鉛アミノ酸錯体/ペプチド複合体	無	6.0% (亜鉛として)	有
マンガンアミノ酸錯体/ペプチド複合体	無	2.0% (マンガンとして)	有
硫酸コバルト	無	0.2% (コバルトとして)	有
ヨウ化カリウム	7681-11-0	< 0.13% (ヨウ素として)	無

## 第4項: 応急措置

全ての化学物質との接触を避ける

- 4.1 皮膚に付着した場合: 皮膚に触れたら、すぐに十分な量の石鹸と水で洗う。汚染された服を脱ぎ、再使用する前に洗濯をする。刺激がある場合は医師に相談する。
- 4.2 目に入った場合: 十分な量の水で目を洗う。医師に相談する。
- 4.3 誤飲した場合: 飲み込まないようにして、口と喉を繰り返し洗う。医師の指示が無い限り嘔吐を促さない。気分が悪い時は医師に相談する。
- 4.4 吸入した場合: 新鮮な空気の場所に移動する。呼吸器への刺激、めまい、吐き気、又は意識喪失が生じた場合は、直ちに医師に相談する。呼吸が止まった場合は、人工呼吸をする。

## 第5項: 火災時の措置

- 5.1 適切な消火剤: 周囲の物質に応じて、粉末消火剤、二酸化炭素、水噴霧または泡消火剤。
- 5.2 燃焼生成物: 燃焼すると、金属酸化物のような刺激性の煙、または一酸化炭素のような有毒ガスが発生することがある。
- 5.3 消防処置: 自給式呼吸器を使用すること。燃焼ガスを吸入しないこと。排水管に燃焼生成物を流さないこと。
- 5.4 不慮の火災および爆発の危険性: 取り扱い中に粉塵が発生すると、すべての顆粒物質に火災を引き起こす危険性が生じる。

## 第6項: 漏出時の措置

- 6.1 人体に対する注意事項: 本製品を取り扱う際は、手袋、安全眼鏡、または顔面シールドなどの適切な保護具を使用する。取り扱い時には、飲食や喫煙をしないこと。
- 6.2 環境に対する注意事項: 製品が排水溝へ流出しないようにする。
- 6.3 浄化方法: 汚染されていない当該物質を再使用するため、注意深く掃き集め、回収する。残った当該物質は適切なラベル付き容器に入れて処分する。

## 第7項: 取扱い及び保管上の注意

- 7.1 取扱い及び保管上の注意事項: 換気が行き届いた場所でのみ使用すること。本製品を取り扱う際は、適切な保護具を使用する。汚染された服を再度使用する前に洗濯する。容器を密閉して、室温で乾燥した場所で保管する。
- 7.2 その他の注意事項: 取扱い時は常に粉塵の発生を最小限に抑える。本製品には金属化合物が含まれている。管理条件下以外では、酸や酸化剤と混合しないこと。

## 第 8 項: 曝露防止及び保護措置

作業場での潜在的な曝露経路には不注意、偶発的な経口摂取や皮膚接触が含まれる。吸入は重大な曝露経路ではない。

- 8.1 曝露ガイドライン:  
8.1.1 米国労働安全衛生局

物質	許容曝露レベル
銅アミノ酸錯体	記載無し
銅粉塵	1.0 mg/m <sup>3</sup> (TWA)
マンガンアミノ酸錯体	記載無し
マンガン化合物 (マンガンとして)	5.0 mg/m <sup>3</sup> (TWA)
亜鉛アミノ酸錯体	記載無し
亜鉛粉塵	記載無し
ヨウ化カリウム	記載無し
硫酸コバルト	記載無し
コバルト粉塵	0.1 mg/m <sup>3</sup> (TWA)
有害粉塵 (合計)	15.0 mg/m <sup>3</sup> (TWA)
有害粉塵 (吸入性画分)	5.0 mg/m <sup>3</sup> (TWA)

- 8.1.2 設備管理: 曝露が規制レベルを超えないよう、換気の良い場所でのみ使用する。  
8.1.3 呼吸器保護具: 粉塵が発生した場合にのみ保護が必要。粉塵に適したマスクを使用する。粉塵を最小限にする適切な取扱いが必要。  
本製品を取扱う際は喫煙しないこと。  
8.2 眼の保護具: サイドシールド付きゴーグルまたは保護眼鏡  
8.2.1 手の保護具: 手袋  
8.2.2 衛生対策: 本製品を取扱う際は飲食しないこと。

## 第 9 項: 物理的及び化学的性質

- 9.1 外観: 茶色の顆粒粉末  
臭い: 甘い有機臭  
物理的状態: 固体  
pH: 該当なし  
融点: > 200°C  
比重 (H<sub>2</sub>O = 1): 0.70 (20°C において)  
水に対する溶解性: 有効成分は水に溶ける  
重量に対する固形分の割合: 100 %  
揮発性: 0%  
揮発性有機化合物 (VOC): 0%  
空気中での引火上限界 (体積に対する%): 該当なし  
空気中での引火下限界 (体積に対する%): 該当なし  
引火点: >200 °C  
自然発火温度: >200 °C

## 第 10 項: 安定性及び反応性

- 10.1 安定性: 本製品は推奨保管条件及び通常の使用条件において安定である。  
10.2 避けるべき条件 (安定性): 取扱中は粉塵の発生を避けること。全ての粉塵、特に金属を有する粉塵や空気中では、発火源に曝露された場合に爆発または燃焼することがある。  
10.3 危険有害反応物質: 有機及び金属化合物は酸及び強力な酸化剤と混合しない。  
これらの物質との混合時に激しい反応が起こる可能性がある。  
10.4 有害な分解物または副産物: 熱分解により、金属酸化物などの刺激性ガス、または一酸化酸素などの有毒ガスを放出する可能性がある。  
10.5 有害な重合: なし

## 第 11 項: 有害性情報

必須微量ミネラルは、低濃度では健康に害はない。本製品は、有機複合体中に栄養上重要な金属を1つ以上含む。同混合物の成分は、化学品の分類および表示に関する世界調和システムの健康被害基準に従って評価されている。以下の情報は、本製品の個々のミネラル成分に関連しているが、供給される製品には遊離金属が含まれていないことに注意すること。

### 11.1 急性毒性 (分類されていない):

この混合物の急性毒性推定値 (ATE) :  
金属成分の急性毒性データ:

LD<sub>50</sub> (経口) = ~7,000 mg/kg  
LD<sub>50</sub> (経口、ラット): コバルト 6,171 mg/kg  
LD<sub>50</sub> (経口、ラット): 銅 ~244 mg/kg  
LD<sub>50</sub> (経口、ラット): ヨウ素 16,000 mg/kg  
LD<sub>50</sub> (経口、ラット): マンガン 9,000 mg/kg  
LD<sub>50</sub> (経口、ラット): 亜鉛 630 mg/kg

ミネラル成分に関連する亜急性/慢性影響

皮膚感作性:

分類されていない。本製品は混合物中に、重量 0.1% を超える濃度のコバルトを含有する。特に反復曝露により、アレルギー性皮膚反応または他のアレルギー反応を引き起こす可能性がある。これらの影響は主にコバルト金属粉塵と関連がある。

発がん性:

分類 2。国際がん研究機関 (IARC) は、コバルトおよびコバルト化合物は人間 (グループ B) に発がん性があると判断した。本製品は混合物中に、重量 1% 未満の濃度の有機コバルト化合物を含有する。

変異原性:

分類されていない。コバルト金属および安定無機コバルト化合物は、哺乳動物細胞アッセイシステムにおいて遺伝毒性または変異原性があることが示されている。本製品は、混合物中に重量 1% 未満の濃度の有機コバルト化合物を含有する。

皮膚刺激性:

分類されていない。

眼に対する刺激性:

分類されていない。

生殖毒性:

分類されていない。本製品は、混合物中に重量 3% 未満の濃度のコバルトを含有する。動物実験では、子孫の発達に影響があることを示している。

特定標的臓器毒性:

分類されていない。

呼吸器感作性:

分類されていない。

### 11.2 微量ミネラルの過剰曝露に伴う症状:

鼻、喉、皮膚の刺激又は燃焼、胃痙攣、嘔気、嘔吐、下痢、挙動の変化、運動能力の低下

### 11.3 過剰曝露に伴う症状の一般的な悪化:

喘息や他の呼吸器系の問題、既存の皮膚炎

## 第 12 項: 環境影響情報

本製品には、環境全体の石や土や水の中で自然に発生する金属で、植物や動物の必須要素である銅、亜鉛、マンガン、ヨウ素及びコバルトが含まれている。これらの金属を含有する無機化合物は、殺菌剤及び殺藻材、殺微生物剤及び木材防腐剤として商業的に使用されており、このような物質の対象となる生態系に影響を引き起こす可能性がある。

家畜用に製剤化され承認されている本製品の金属-アミノ酸錯体の実際の環境毒性に関するデータはない。

## 第 13 項: 廃棄場の注意

本製品は、廃棄時に 40 CFR (連邦規則集) 260 で規定されている有害廃棄物ではない。すべての廃棄物と同様に本製品の残留物や容器は、責任を持って、許可されたごみ廃棄場またはリサイクルセンターで処分することを推奨する。

## 第 14 項: 輸送上の注意

本製品は、米国での輸送上の 49 CFR (連邦規則集) 172.101 に有害物質として記載もしくは分類されていない。

## 第 15 項: 適用法令

ミネラル-アミノ酸錯体/ペプチドは、記載されているいずれの法令においても規制されていない。遊離金属または金属化合物としての金属成分は、以下のように規制される。

15.1.	米国連邦規制	
15.1.1	TSCA (有害物質規制法) リスト:	銅及び銅化合物
15.1.2	CERCLA (包括的環境対策・補償・責任法):	直径 0.004 未満の粒子 RQ 5000 lb.
15.1.3	EPCRA (緊急事態計画及び地域住民の知る権利法):	
	302 極端に危険な物質 TPQ:	EHS (環境・労働安全衛生) に該当しない。
	304 極端に危険な物質 RQ:	EHS (環境・労働安全衛生) に該当しない。
	311/312 危険カテゴリ:	急性: 無 慢性: 有 火災: 無 圧力: 無 反応性: 無
	313 報告されている成分:	銅化合物 N100 >重量 1.0%
15.1.4	大気浄化法改正案 第 112 条:	大気浄化法改正案 第 112 条に有害大気汚染物質として記載無し。
15.2.	米国連邦規制	
15.2.1	TSCA (有害物質規制法) リスト:	マンガン及びマンガン化合物
15.2.2	CERCLA (包括的環境対策・補償・責任法):	クラスは CERCLA の有害物質だが、RQ には指定されていない。
15.2.3	EPCRA (緊急事態計画及び地域住民の知る権利法):	
	302 極端に危険な物質 TPQ:	EHS (環境・労働安全衛生) に該当しない。
	304 極端に危険な物質 RQ:	EHS (環境・労働安全衛生) に該当しない。
	311/312 危険カテゴリ:	急性: 無 慢性: 有 火災: 無 圧力: 無 反応性: 無
	313 報告されている成分:	マンガン化合物 N450 >重量 1.0%
15.2.4	大気浄化法改正案 第 112 条:	マンガンは空气中に放出されると規制の対象になる可能性がある。
15.3.	米国連邦規則	
15.3.1	TSCA (有害物質規制法) リスト:	亜鉛及び亜鉛化合物
15.3.2	CERCLA (包括的環境対策・補償・責任法):	クラスは CERCLA の有害物質だが、RQ には指定されていない。
15.3.3	EPCRA (緊急事態計画及び地域住民の知る権利法):	
	302 極端に危険な物質 TPQ:	EHS (環境・労働安全衛生) に該当しない。
	304 極端に危険な物質 RQ:	EHS (環境・労働安全衛生) に該当しない。
	311/312 危険カテゴリ:	急性: 無 慢性: 無 火災: 無 圧力: 無 反応性: 無
	313 報告されている成分:	亜鉛化合物 N987 >重量 1.0% 粉塵または煙霧としての亜鉛 >重量 1.0%
15.3.4	大気浄化法改正案 第 112 条:	大気浄化法改正案 第 112 条に有害大気汚染物質として記載無し
15.4.	米国連邦規則	
15.4.1	TSCA (有害物質規制法) リスト:	ヨウ素およびヨウ素化合物
15.4.2	CERCLA (包括的環境対策・補償・責任法):	クラスは CERCLA の有害物質だが、RQ には指定されていない。
15.4.3	EPCRA (緊急事態計画及び地域住民の知る権利法):	
	302 極端に危険な物質 TPQ:	EHS (環境・労働安全衛生) に該当しない。
	304 極端に危険な物質 RQ:	EHS (環境・労働安全衛生) に該当しない。
	311/312 危険カテゴリ:	急性: 無 慢性: 無 火災: 無 圧力: 無 反応性: 無
	313 報告されている成分:	該当しない。
15.4.4	大気浄化法改正案 第 112 条:	大気浄化法改正案 第 112 条に有害大気汚染物質として記載無し
15.5.	米国連邦規則	
15.5.1	TSCA (有害物質規制法) リスト:	コバルトおよびコバルト化合物
15.5.2	CERCLA (包括的環境対策・補償・責任法):	クラスは CERCLA の有害物質だが、RQ には指定されていない。
15.5.3	EPCRA (緊急事態計画及び地域住民の知る権利法):	
	302 極端に危険な物質 TPQ:	EHS (環境・労働安全衛生) に該当しない。
	304 極端に危険な物質 RQ:	EHS (環境・労働安全衛生) に該当しない。
	311/312 危険カテゴリ:	急性: 無 慢性: 有 火災: 無 圧力: 無 反応性: 無
	313 報告されている成分:	コバルト化合物 N096 >重量 0.1%
15.5.4	大気浄化法改正案 第 112 条:	コバルトは空气中に放出されると規制の対象になる可能性がある
15.6	州規制:	個々の州の機関に情報を確認すること。
15.7	国際的な規制	欧州化学物質情報システム (ESIS) オーストラリア有害物質情報システム (HSIS)

**第 16 項: その他の情報**

その他の情報: 羊及びそれと同類の動物には給与しないこと。

16.1 全米防火協会の危険分類

健康面: 0 可燃性: 1 反応性: 0

16.2 危険有害性情報システムの危険分類

健康面: 0 可燃性: 1 物理性: 0 防護: 1B

16.3 事前情報:

環境有害物質・特定疾病対策庁(ATSDR)疾病管理センター(CDC)

全米防火協会 (NFPA)

危険有害性情報システム(HMIS)

アメリカ合衆国環境保護局 化学物質緊急準備予防部(CEPPO) リスト

アメリカ合衆国環境保護局 有害物質規制法 (TSCA)

アメリカ合衆国労働安全衛生局(OSHA) 29 CFR 1910.1000

アメリカ合衆国運輸省(DOT) 49 CFR 172.101

免責条項: 本書に記載されている本製品の情報は、信頼できるものです。但し、本製品の使用に関する明示的または黙示的な保証は一切行いません。